

りとにゆーす

No.66 2012.11.1

図書館の情報を
携帯でチェック!!編集・発行 岡山理科大学図書館
〒700-0005 岡山市北区理大町1-1
<http://www.lib.ous.ac.jp>

大学図書館の役割



図書館長

橋爪 道彦



本年4月から図書館長に就任した理学部応用数学科の橋爪です。図書館の運営に携わるのは初めてですが、知の殿堂と呼ばれる図書館が、大学の教育・研究に対して果たす役割の重要性については充分認識しているつもりです。

大学図書館は教育・研究の推進のために豊富な文献・資料を備え、それを提供する情報センターとしての役割を担っていると同時に、場所としての図書館として、快適な学習環境を提供するという役割を有していると考えております。本学の場合、価格高騰に伴う学術雑誌の度重なる削減という事態が続いていますが、その一方で電子ジャーナル利用サービスの導入等を進めており、学術情報提供に支障が生じないよう努力していると考えております。理工系大学である本学の場合、専門分野の図書や文献はかなり充実しておりますが、大学人として幅広い教養を身に付けたいと考える学生や教職員の要望に対し十分応えられているとは言えず、今後の課題であると思っております。

さて、場所としての図書館の役割についてですが、従来図書館というと静寂な環境の中で、必要に応じて備え付けの文献や資料を利用しながら、一心不乱に学

習に勤しむ場所であるとのイメージが強いと思います。学生諸君の中には受験生時代、自室では勉強せず公共図書館の学習室で受験勉強に打ち込んだ経験のある人も少なからずいると思います。これは周囲に学習に没頭している人がいるのを見ることで、刺激を受け自らを鼓舞することが出来るという効果があるからだと思います。この様な学習環境の重要性は言うまでもないことですが、大学生になると個人学習もさることながら、グループ学習の度合いが高まり、そのもたらす効果も大きくなります。従ってこれからの図書館にとって必要とされるのは、グループ学習のために有効なスペースの提供、すなわち文化的な学習環境の中で友達と一緒に過ごすことの出来る居場所であって、質問や議論を交わしながらお互いに学び合い高め合っていくことの可能な空間と機会の提供であろうと思います。これは現状では困難ですが、実は今新建物の建設が計画されており、その中に図書館のスペースが用意されておりますので、近い将来には可能となるでしょう。大学での学びは「求めよ。さらば与えられん」の一言に尽きます。学生の皆さんにはこれまで以上に図書館を活用して頂きたいと願っております。